

《不思議の国のアリスの》

帽子屋さんの お茶の会

作:別役実 演出:中島諒人

Alice's Adventures in Wonderland
The Mad Hatter's Tea Party

2020年4月29日(水・祝)、5月2日(土)~6日(水・休)、9日(土)・10日(日) 14:00 開演 (配信開始)

いろいろな人とお茶の会をしよう!

別役実のこのテキストは、言葉遊びが多く、ナンセンスなやりとりが横ずれするように展開する不思議で面白いメルヘンだ。夢の中のように何でもありで、「森」と呼ばれるその世界は、人間の精神世界の混沌を表しているようだ。しかしと言うべきか、だからと言うべきか、私はこのテキストを存在の不安を抱えた者(帽子屋)の魂の再生の物語と理解して全体を組み立てた。横ずれするばかりにも見える物語だが、実は構築的に積み上げてある。

何かのきっかけで心に傷を負った帽子屋。お茶の会とは、他者との関係構築の場。関係に不安を抱えた者にとって、自分をさらすことなどできない。「名前」や「らしさ」が大事で、無防備な自分と他者がうかつに出会ってしまえば、それは自分の存在を揺るがし、場合によってはもろい自己が壊れてしまう。だから帽子屋は、お茶の会を求めながら避けようとする。けれど、人の魂はより良きものを本源的に願うから(もちろん本源的に悪へ向かう傾向も同時に持つが)、不安と危険にもかかわらず外部との出会いを求め、成長の糧としようとする。

新型コロナウイルスによるこの状況で、我々は今、他者との出会い = お茶の会ができない状態にある。できない原因が外にあるという意味で、帽子屋と我々はとりあえず違うけれど、必要なことができないという点では同じ。できない私たちにできることはなんだろう。

1 みんな、それぞれのお茶の会に向けて準備をしよう。

別役実は、不条理劇を通じて世界を描いた。不条理劇とは、人間の力を超える大きなストレスのもとで右往左往しトンチンカンな振る舞いをする人間を描く。伝染病が世界を覆うこの巨大なストレスの下、あたふたしてしまいがちだけれど、自分を誇張して威張るのではなく、卑屈になるのでもなく、「らしさ」を求めて借り物をでっちあげるのでもなく、自分らしいお茶会=出会いを考えて、その実行のための準備をしておこう。鍵は自分らしさ、少しずつでいいから自分を開くこと。

2 お茶の会をやるなら、このさい「変な人」と。

意見の同じ人たちとお茶の会は、SNSなどで十分。変な人って言うと変だが、ヤバい人とか危険な人は、本能的にうまくかぎ分けてもらって、自分とは異なる趣味や考えの人と関わるのがポイント。本当に困った時に光をもたらしてくれるのは、「変な人」だったって経験はだれしもあるはず。おもしろい「変な人」を探しておこう。



それにしてもコロナだ。未知のウイルスは、容易には駆逐できないから、付き合っていかなければならない。どのように折り合いをつけられるか。自分や身の回りの人が罹患し重症化しないか。どれほどの期間この抑圧状態が続くのか。この不安定の中、自分の生活のあり方はどのような変化を強いられるのか。劇場の経営は大丈夫か、日本経済はもつのか。いろいろ不安である。そしてさらなる不安。このストレスの中、憎悪や偏見、差別が世界のあちらこちらで生まれている。団結が必要だが、分断がさらに深まらないか、あるいは、団結の必要が権力の集中や専制政治を肯定し強化しないか。不安は湧きだす。

そのような状況の中で、外国も含めて多くの演劇人とメッセージやりとりし、励まし合っている。世界に暮らすそれぞれがそれぞれの場所で希望の光となり、他の光を支える者ともなる。そういう相互的・互恵的ネットワークの結節点の一つとして、この場所が機能できることをうれしく思う。なんとしても、この困難を乗り越えなければならない。ライブ配信などを通じて、新しい人と出会い、危機にある同志とも連帯し、価値発信の新しい方法の模索をしなければならない。

今回の上演をライブ配信することができたのは、鳥取県による柔軟で迅速な支援があったおかげである。深く感謝申し上げたい。

(鳥の劇場芸術監督 中島諒人)

キャスト

帽子屋 … 大川潤子 チンシャ猫 … 齊藤頼陽 三月兎 … 後藤詩織
アリス … 安田茉耶 通訳 … 三輪冬子 使者 … 中垣直久 公爵夫人 … 高橋等
市長 … 村上厚二 魔法使い … 赤羽三郎 眠りねずみ … 中川玲奈

スタッフ

舞台美術：中島諒人 中垣直久 舞台監督：岩崎健一郎(NIKE ステージワークス) 照明：生田正
音響：原伸弘(オハラ企画) 大道具製作：中島諒人 赤羽三郎 中垣直久 小道具製作：中垣直久
菓子製作：浜田連珠 齊藤頼陽 衣装デザイン・製作：Ki Ya i 衣装補助：安田茉耶

劇中曲

「帽子屋さんの子守歌」作曲：武中淳彦 演奏：武中淳彦 西尾悦子 松本智彦
「スポーツと気晴らし」「官僚的なソナチネ」「6つの小品より1番」作曲：エリック・サティ 演奏：西尾悦子
英語台本翻訳：増川智子 映像配信：m&m.co 制作：鳥の劇場

使用戯曲：《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会

別役実『おさかなの手紙 別役実童話集』（三一書房、1984）に収録

使用楽曲：「Limelight」「Maiden Voyage」演奏者：絵里 © 3361*BLACK

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場

後援:鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団 鳥取県アートの灯を守る!とっとりアート支援事業